富山市教育委員会会議録
令和８年９月定例会

１　日　　時　　令和８年９月２９日(月曜日)
午後　１時３０分　開会
午後　３時００分　閉会

２　場　　所　　Toyama Sakura ビル８階　教育委員会室

３　出席委員

教育長	中崎　健志
委員	若林　啓介
委員	藤井　久丈
委員	高田　　健
委員	石動　瑞代

４　説明のために出席した者

事務局長	本郷　由佳
事務局次長（学校教育担当）	大窪　智恵子
教育総務課長	竹内　　孝
学校再編推進課長	山崎　　悟
学校施設課長	大島　　聡
学校教育課長	前田　将靖
生涯学習課長	岡田　妥江
教育センター所長	山岸　朋子
郷土博物館長	木下　　満
学校保健課主幹	宮本　信孝

５　職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	経塚　陽子
教育総務課長代理（管理係長）	本多　千代子
教育総務課主査	村中　なつみ

６　傍聴人数　　１人

７　付議案件

（１）報告事項

報告事項２６　令和８年９月市議会定例会における質問の概要について

報告事項２７　委託契約締結（小・中学校体育館空調整備業務委託）に係る教育委員会の意見の承認について

報告事項２８　市内公立学校におけるいじめ重大事態の市長への発生報告（３件）について

報告事項２９　令和８年度学校選択制に関するアンケート調査（生徒及び保護者）の集計結果について

報告事項３０　「学校における食物アレルギー対応マニュアル」の改訂について

（２）その他

そ の 他１２　郷土博物館特別展「昭和を灯す－安井さんが集めたマッチとたばこの世界」

そ の 他１３　佐藤記念美術館企画展「上々×佐藤助庵－茶と美への道」

８　会議の要旨

【開会】

[教育長]　　開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長]　　８月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員]　　（意見なし）
[教育長]　　意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

［教育長］　報告事項２８は、内容に個人情報を含む案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。
［各委員］　異議なし。
［教育長］　承認を得られたので、報告事項２８は非公開とし、その他１３の後に行うこととする。

【報告事項２６】

［教育長］　報告事項２６について事務局から説明を求める。
［教育総務課長］　（報告事項２６について説明）
［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。
［高田委員］　１４、１５ページの夏休みの学校プールの開放に関して、実施する際の監視員はＰＴＡだけなのか、それとも教員もいるのか。
［学校教育課長］　教員も付き添っているほか、ＰＴＡにも協力をいただいている。それ以外にもプール監視員を任用することで、複数の目で対応している。
［高田委員］　「児童○人当たり監視員○人必要」などといったガイドラインはあるのか。
［学校教育課長］　現在はプール利用に関するガイドラインはないが、小学校長会からそのような内容も含めたガイドラインの策定要望も挙がっているため、検討しているところである。
［高田委員］　事故発生やその責任問題について懸念されるので、ガイドラインを策定してほしい。また、暑い日が続きプール開放が難しい状況が多くなっているので、プール開放の是非についても考えてほしい。
［藤井委員］　５ページの日本語指導が必要な児童生徒に関して、子ども同士や保護者を含めたコミュニケーションなど、教育現場で支障は出ていないのか。
［学校教育課長］　外国にルーツを持つ児童生徒が増え、日本語での授業を受けていても中々理解できない子どもが一定数いることは事実である。子どもについては、指導員が隣で見守るようにしたり、週１～２回程度、指導員と１対１で話をする場面を設けたりしている。
保護者については、コミュニケーションを図ることが難しい場面もあるので、言語を扱える方が同席したり、端末などのコミュニケーションツールを利用したり、ポケトークなどを購入したりして、何らかの方法で対応している。

［藤井委員］　授業では、生（なま）の日本語で話しているということか。
［学校教育課長］　そうである。
［藤井委員］　授業においてＡＩやツールを活用する方針はあるか。
［石動委員］　最近では、短時間で文字起こしや翻訳ができるツールなどもあると思うが、活用を検討していく必要があると考えているのか。
［学校教育課長］　検討していかなければならないと考えている。クロムブックで英語だけでなく様々な言語に対応できることもわかってきたので、上手く活用できないか今後の課題としている。
［教育長］　以前、同時通訳できるツールを活用しながら日本語指導をしている夜間中学を視察したことがある。ただ、事業費が伴うこともあり、あまり活用が広がっていないようである。今後さらに需要が増えた場合に向けた検討や準備をしていく必要がある。
［石動委員］　１５ページの子どもの読書活動に関して、時間や空間（スペース）の面から、学校生活において図書室の利用の自由はどのくらい保障されているのか。ＡＩ等が進む中で物事を調べることも手元でできるようになり、自ら図書室に出向いて読書の世界を楽しむ子どもも中にはいるとは思うが、それには仕掛けが必要ではないかと考えられる。
［学校教育課長］　中学校の事例では、貸し出しのために本をじっくり選ぶ場合は、放課後１時間程度の間に行うことが多い。各学校の対応として、学年や曜日で貸し出し日を分けているケースもある。授業中に教員が引率し、図書室を活用することもあるが頻繁ではないと思う。
［石動委員］　図書室には良い本がたくさんあり、資産でもあるので、有効に活用できると良いと思う。
［教育長］　各学校で探究活動を実施しており、その調べ学習の一環で学校司書が本を紹介するケースも増えている。
［大窪事務局次長］　小学校の場合は、２限後や給食後の休み時間に、子どもたちが図書室を自由に出入りして、本に親しめる時間となっている学校が多い。その際、学校司書がいない時間もあるが、子どもたちの児童会活動の中で図書委員が運営を行ったり、図書担当の教員が管理をしたりなど、可能な限り図書室を利用できるよう対応している。
［教育長］　その他に質問等あるか。
［各委員］　質問等なし。

【報告事項２７】

［教育長］　報告事項２７について、本案件は富山市教育委員会事務決裁規則

に基づき、既に教育長が「意見なし」として代決したものであり、委員会へ報告し承認を求めるものである。事務局から説明を求める。

［学校施設課長］　（報告事項２７について説明）

［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。

［若林委員］　契約期間が長く、途中で価格変動の可能性も想定されるが、その場合の条件を教えてほしい。

［学校施設課長］　仕様書では、受注者の申し出により協議に応じることとなっている。

［若林委員］　具体的な価格の変動幅について規定されているのか。

［学校施設課長］　規定されていない。

［石動委員］　国の補助はあるのか。

［学校施設課長］　国の補助制度もあるが、様々な財源を検討し、今回の事業では国の補助を使わず、避難所としても体育館が活用されることから、防災関係の起債で交付税措置の割合が高いものを活用している。

［藤井委員］　避難所を想定したグレードの空調設備になるのか。

［学校施設課長］　通常の体育館で使用される空調設備を設置する予定である。

［教育長］　その他に質問等あるか。

［各委員］　質問等なし。

［教育長］　採決を行う。報告事項２７について、異議があるか。

［各委員］　異議なし。

［教育長］　異議なしと認める。よって報告事項２７は承認された。

【報告事項２９】

［教育長］　報告事項２９について、事務局から説明を求める。

［学校教育課長］　（報告事項２９について説明）

［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。

［若林委員］　今の学校への入学に関して「よかったと思わない」という意見が少数あるが、否定的な意見は具体的にどのような内容だったのか。

［学校教育課長］　３０ページに自由記述として「自分の地域の学校が荒れないか心配」とあるように、生徒数が少なくなることに伴う懸念もあると考えている。

また、学校公開日が同日のため、複数の学校を見学して比較ができないという要望が毎年挙がっており、昨年度から学校公開を半数ずつ午前・午後に分けて実施し、さらに今年度は入れ替えを行って実施しているので、徐々に複数の学校を見学できるようになって

いると考えている。アンケート結果でも「複数の中学校に行った」という回答が増えている。

［若林委員］　入学から３か月経過後のアンケート結果であるため、入学したがよくなかったと感じていることになるので、その原因が何なのか気にかかる。今後の課題だと思う。

［教育長］　その他に質問等あるか。

［各委員］　質問等なし。

【報告事項３０】

［教育長］　報告事項３０について、事務局から説明を求める。

［学校保健課主幹］　（報告事項３０について説明）

［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。

［藤井委員］　アレルギーで注意が必要とされる子どもの割合はどのくらいか。

［学校保健課主幹］　マニュアルを当初作成した平成２５年度では２．９％、令和７年度では４．２％であり割合は増加している。現在は、クラスに１．５人程度いる数値である。

［藤井委員］　アレルギーの届けがなくトラブルになった事例はあるか。

［学校保健課主幹］　届けがなかった事例もあるが、小学１年生で食べたことがなかった食品を給食で初めて食べたところ、かゆみが出たという事例があった。

［藤井委員］　就学前に、主要な原因食品だけでもアレルギーの血液検査を実施している他市町村の取組はあるか。

［学校保健課主幹］　把握している限り、血液検査まで実施している自治体は聞いたことがない。現在は、就学児健診前に全ての児童に対しアレルギー調査を実施し、その内容について健診時に聞き取りを行い、アレルギーがないか確認をしている。

［教育長］　文部科学省から血液検査を推奨するような通知等はあるか。

［学校保健課主幹］　通知等はない。

［藤井委員］　初めて食べる食品が給食で出る場合、食べさせて良いか保護者に確認するのか。

［学校保健課主幹］　アレルギー調査では、初めて食べる食品の有無、特にアレルゲンになる食品について該当の有無も調査している。

［高田委員］　学校の保健室にエピペン®やネフィー®は置いてあるのか。

［学校保健課主幹］　エピペン®やネフィー®は処方薬なので、児童生徒が家庭から持参している。

［高田委員］　アレルギーの自覚症状がなく、初めて食べた食品等で症状が出た

場合は、救急搬送になるのか。

［学校保健課主幹］　実際の事例でも自覚症状がなかったが発症したケースがあり、マニュアルに記載の症状別緊急時対応に則り、学校で適切に対応している。

［高田委員］　今まで富山市で重篤な症状が出たり、生命の危険があった事例はあるか。

［学校保健課主幹］　過去５年程度の間では把握しているケースはない。

［石動委員］　ネフィー®は今後主流になるのか。エピペン®を子ども自身が打てなかった場合に周りの人が打つこともあるように、ネフィー®も周りの人が対処することも想定されるのか。

［学校保健課主幹］　ネフィー®は点鼻薬であり、花粉症の点鼻薬よりも少し固いものになる。針を刺すという行為がないので使用する際の抵抗感が少なく、アレルギーの専門医によると今後ネフィー®の方が主流になるのではないかという見解である。ただし、鼻に１㎝程度差し入れなければならないので、それを嫌がる子どももいると想定され、エピペン®がなくなるということではないと考えている。市教育委員会では、ネフィー®の模型等を用意し研修に努めていきたい。

［教育長］　その他に質問等あるか。

［各委員］　質問等なし。

【その他１２、１３】

［教育長］　その他１２、１３について、事務局から説明を求める。

［郷土博物館長］　（その他１２、１３について説明）

［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。
安井清さんは富山にゆかりのある方なのか。

［郷土博物館長］　富山出身ではないが経歴が珍しく、戦争中に従軍し、その後裁判所の職員となり、その傍ら画家活動をしていたそうだ。

［教育長］　その他に質問等あるか。

［各委員］　質問等なし。

［教育長］　非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項については、概要のみを記載する》

【報告事項２８】　※非公開案件

［教育長］　　（報告事項２８について、事務局から説明を求める。）
［学校教育課長］　（報告事項２８について説明）

［教育長］　　以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
［各委員］　　質問等なし。

【閉会】

［教育長］　　閉会を宣言する。